



校長室より

3連休から先週にかけて、本当に寒い日が続いていましたね。毎朝氷点下の気温でした。朝のテレビの気象予報士の方が、声を震わせながら、「本当に寒いです。今日は底冷えしますから、もう一枚羽織ってお出かけください。」なんて言うと、さらに寒さを感じてしまいます。しかし、北海道の内陸部では、氷点下30度なんて場所もあるので、少しぐらいがまんしなければなりません。

でも、50年ほど前までは、冬の朝は氷点下4度なんて日常茶飯事でした。朝、母親がご飯の用意をしようと水道の蛇口をひねっても、凍っていて水が出ないなんてこともありました。そのために、外を通っている水道管を布や縄などで巻いたり、明日は冷え込むという日は、夜の内から水をちょろちょろと出しておいたりもしました。近頃では、水道管が凍ったなんて話は、めったに聞かなくなりました。水道管に工夫が凝らされ、また、じかに水道管が露出しているところも少なくなりました。配管や水道工事の技術が飛躍的に向上したこととともに、暖冬傾向も水道管凍結が起こらない原因なのかも知れません。



寒い朝の霜や氷

それにしても、技術の進歩は加速度的に進み、また気候の変動も加速度的に大きくなってきました。今までなら千年・一万年単位の変化が、ほんの数十年・数百年単位で起こってしまいます。科学技術の進歩に驚きながら、自然の大きな変化に不安を感じる・・・いろいろと考えることの多い時代になったものです。

凧揚げ

1月15日、一年生のみなさんが、運動場で凧揚げをしました。この日はほとんど風がなく、凧揚げには不向きな天候だったのですが、それでも子どもたちが一生懸命走ると、どの凧もぐんぐんと空へ向かって上昇していきました。残



凧揚げをする子どもたち

念ながら、走るのをやめると、凧はすぐに落ちてしまいました。でも、凧が揚がるときの

手応えを実感しながら、子どもたちはとても楽しそうでした。

フィルム貼付

校舎一階にある、卒業写真を展示したショーケースのガラスに、飛散防止用のフィルムを貼付していただきました。もちろん、どれも強化ガラスですし、強く固定していただいていたので、それほど不安はありませんでした。しかし、近い将来起こるであろう大地震は、震度7クラスとされています。準備をしすぎるといことはありません。また、普段の生活の中でも、何かぶつかってガラスが飛散することも考えられないことはありません。そこで、今回の工事となったのです。丸一日かけての貼付作業を、子どもたちも興味深げに見ていました。



フィルム貼付作業

縄跳びに夢中

寒い寒い日も、子どもたちはとても元気です。運動場で鬼ごっこやサッカー、キックベースやドッチボールなどで遊んでいます。そんな中で、今多くの子もたちが夢中になっているのが縄跳びです。体育の時間などで取り上げていることもあります。少し跳んだだけで体が温くなる縄跳びは、真冬向きのスポーツです。二重跳びや交差跳び、あや跳びなど、見事に会得した子どもたちも見られます。もしご自宅でも縄跳びに挑戦している姿を見かけましたら、はげましの声をかけてあげてください。



縄跳びで遊ぶ子どもたち

ホームページ ~インフルエンザによる出席停止の状況~

先週から、HPの健康関連情報の更新を再開しました。インフルエンザの流行時期に入ったためですが、罹患者数や学級閉鎖の状況等をお知らせします。もちろん、罹患者がない場合は、更新しませんのでご了解ください。

なお、お子様がインフルエンザと診断されましたら、すぐに学校までご連絡ください。出席停止扱いとなりますので、用紙をお渡しします。今年は今のところA型の患者が多く出ているようです。どうぞご注意ください。

寒い日の 暖かいお話

先日、校門のところに一人の男性がやってきました。手に持っている小さな手袋を私に差し出し、「私の家の前へ落としていったようやで、渡してあげてください。」そう言って私に片方だけの手袋を渡すと、また来た道を引き返していかれしました。寒い日のとても暖かなお話です。ちなみに、その手袋は持ち主が見つかり、無事に返すことができました。